

若年性認知症の人を中心にした
生きがいとしての「仕事の場」

タック

に あなたも参加しませんか？

Tack

在職中に診断を受けることを勧めます。
クビにされると恐れないで診断を受けよう。
治る認知症かもしれないし怖いけど、
それで諦めてしまうと
できることもできなくなるから
チャレンジしましょう。

タックとは？

若年性認知症の人、
病気や介護などのために離職した人などが、
生きがいとしての「仕事の場」を作っていきます。

タックの意味は？

[Tack] :スウェーデン語で「ありがとう」の意味。

ヨットでは、帆の向きを変えることを
「タッキング」と言います。

感謝の気持ちをもちながら、
人生の帆の向きを自発的に変え
進んでいけたらという思いを込めて
名づけました。

どんな活動をしているの？

くるみボタンなどを作り、
認知症でもできることがあることを
社会に伝える活動をめざしています。

若年性認知症もあると知ってください。
高齢者ばかりの病気ではないです。
仕事をしてきたので、仕事がしたい。
できることと、できないことがわかりにくい。
ちょっとしたサポートで
仕事ができるのではないかと
サポートしてもらって、仕事を続けたい。

できることがあればやりたいけど、
皆に迷惑かけるのではないかと、
できないということを感じるのも不安。
認知症の人同士で話せる場所がほしい。
専門家の話も聞きたい。

認知症の人たちからの
メッセージ

活動場所

生きがいとしての
「仕事の場」
タック

参加日は、
ご相談ください
10時～15時
祝日、年末年始は休み

- 地下鉄長堀鶴見緑地線
「玉造」駅 ⑤番出口より徒歩5分
- J R環状線「玉造」駅南改札口より徒歩3分



連絡先

特定非営利活動法人

認知症の人と
みんなのサポートセンター

〒537-0024 大阪市東成区東小橋 1-18-33

TEL/FAX. 06-6972-6490

[ホームページ] <http://minnanospc.grupo.jp/>



独立行政法人福祉医療機構
WARM助成 社会福祉振興助成事業

参加希望の方は、
ご連絡ください